



明石市立  
文化博物館

# 文化博物館だより 第171号

2007年7月4日

みなさん、こんにちは。7月のスタートとともに、梅雨らしい曇り空の日が続くようになりました。

## ● 沢池小学校3年生が来てくれました。



割りばし鉄砲。真剣に狙っています



常設展示室。宮本武蔵のパネル  
を見えています

6月22日、沢池小学校3年生108人の生徒さんが校外学習に来てくれました。3グループに分かれて、常設展示室や体験学習室を見学しました。体験学習室では火おこしや昔の衣装の着付け等ができますが、割りばし鉄砲やベーゴマなど、昭和のおもちやも追加して並べ、108人みんなが体験できるようにしました。男の子たちは割りばし鉄砲に熱中。窓際に並べた、的に見立てたお菓子の空き箱に上手に当てていました。女の子たちは弥生時代の貫頭衣を着て記念撮影。「着心地いい」と楽しそうでした。常設展示室では明石城との関わりも深い宮本武蔵のパネルを見ながら「宮本武蔵って知ってる？」という先生の問いかけに、みんないっせいに「知っとう！」と答えていました。

## ● 企画展 小原実知成展が閉幕しました。

5月19日(土)から始まった企画展 郷土作家シリーズ「小原実知成展」が、6月24日(日)に閉幕しました。郷土作家シリーズですが、徳島等、県外からもたくさんの方がお越しくださいました。30代以下の方が約3割と、若い方にもたくさんご覧いただきました。「何か言いたげで惹かれるものを感じた」「おもしろい絵で気に入りました。もっとたくさん見たいです」等の感想をいただきました。ありがとうございました。

8月4日(土)から企画展「祝百寿 渡辺うめ人形展」が開催されます。どうぞお楽しみに！

次回企画展「祝百寿 渡辺うめ人形展」のポスターやチラシの制作が進んでいますが、とても可愛いものができるそうです。間もなく街なかに貼りだされますので、どうぞお楽しみに！